

市民に信頼され、市民の役に立つ市役所

市民の中に入って、地域の課題を見つけ、市民とともに考え、解決に向け積極的に行動する職員

地域で何が起きているのか、市民の皆さんは、何を望んでおられるのかを的確に把握し、課題の解決に向けて市民の皆さんとともに知恵を絞り、汗をかくことができる職員を目指します。

目指す「職員像」

職員一人ひとりが、専門性や得意分野を持ち、自らの特性も最大限に発揮し、市民の信頼に応える職員

職員一人ひとりがプロフェッショナル意識を忘れず、豊富な知識に基づいて、市民の皆さんに適切なアドバイスや求められるサービスを提供することができる職員を目指します。

社会情勢の変化に即応した改革意識を持ち、仕事への情熱と柔軟な思考のもと、市役所と仕事を変革できる職員

前例踏襲にとらわれず、舞鶴市全体にとって何が最適かという観点から、より高い成果を目指して、市役所と仕事の変革に挑戦し続ける職員を目指します。



市役所が目指す「組織像」
市職員が目指す「職員像」をまとめる

市民アンケート調査から

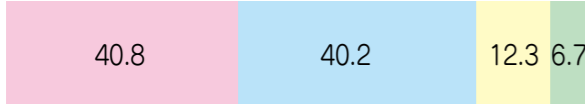
【結果】

■ 良い・まあまあ良い ■ 普通
■ あまり良くない・悪い ■ 分からない・無回答
※数値はパーセント表記

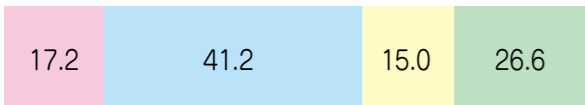
市職員の窓口や電話の対応は良いと思いますか？



対応の早さや親切さはどうですか？



地域活動への参加状況はどうですか？



《記述意見》

◆以前は、もう少し優しい言葉で話されても良いのではと感じる時もありましたが、今は、親切で丁寧な対応で感謝しています。

◆やる気がない人も多いように思います。市民の税で雇われているサービス業であるという自覚をしっかり持ってほしいです。

◆パソコンの前も大切ですが、何より舞鶴のまちをじっくり見てもらいたい、机上の理論より実際にまち中を歩き回ってほしいです。

◆職員自らが舞鶴の未来像を描きつつ行動してもらえたらと希望します。公務員特有の事なかれ主義だけはやめてほしいです。

◆市民への丁寧な対応と豊富な知識による適切なアドバイス、そして、自己と組織を改善しようとする職員を求めています。

【実施時期】平成23年8月

【回答率】34.6% (対象:3,000人、回答1,038人)

▶詳しくは、職員課 (☎66・1043) へ。

市民の皆さんの満足度を高める市政をつくり上げていくためには、職員の一人ひとりが市民のため地域のため持てる力を最大限に発揮することが何よりも重要です。市では、市役所とはどのような組織でなければならぬのか、職員に求められるていることは何なのかということ、市民アンケート調査の結果などをもとに話し合い、目指す「組織像」と「職員像」としてまとめました。この「組織像」と「職員像」は、職員の人材育成を進めていく上での道標、職員自身が我が身を振り返る指標、さらには市民の皆さんに対する職員のお約束となるものです。新しい時代を迎えた地方自治の担い手として、市民に信頼され、市民の役に立つ市役所づくりに全職員が一丸となって、全力で取り組みんでいきます。